

臨床試験情報

登録項目	登録項目詳細	記載内容
試験の名称等	試験の名称	季節性インフルエンザウイルス感染症治療における T-705a の用量反応性の検討
	試験実施者（会社名・機関名）	富山化学工業株式会社
	試験の種類	介入試験(薬剤)
	試験の概要	季節性インフルエンザウイルス感染症患者を対象に T-705a の用量反応性をリン酸オセルタミビルを対照に比較する。
試験の内容	試験薬剤名	T-705
	対象疾患（症状）名	インフルエンザ感染症
	主たる薬効群名とコード	625（抗ウイルス剤）
	用法	経口投与
	対照薬剤名	オセルタミビルリン酸塩
	主たる薬効群名とコード	625（抗ウイルス剤）
	用法	経口投与
	試験の目的	治療
	試験のタイプ・フェーズ	フェーズ 2
	試験デザイン	ランダム化(中央登録), 多施設共同, 二重盲検試験
	対象基準	選択基準 性別不問 鼻腔又は咽頭ぬぐい液を検体として, インフルエンザウイルス抗原測定キットで陽性反応を示した患者 登録時の体温(腋下温)が38.0℃以上の患者 2つ以上のインフルエンザ様症状を有する患者
	エンドポイント	発熱持続時間
	試験の現状	試験終了
試験実施地域	日本	
関連情報	参照文献名称	T-705 の in vitro 及び in vivo の抗インフルエンザウイルス活性
	参照文献	Furuta Y, Takahashi K, Fukuda Y, Kuno M, Kamiyama T, Kozaki K, et al. In Vitro and In Vivo Activities of Anti-Influenza Virus Compound T-705. Antimicrob Agents Chemother 2002; 46:977-81.
	内容の説明	T-705 の抗インフルエンザ活性について, Antimicrobial Agents and Chemotherapy 誌に掲載された論文。
	リンク先名称	インフルエンザウイルスに対する T-705 の作用機序
	リンク先 URL	http://aac.asm.org/cgi/reprint/49/3/981
	リンク先の説明	抗インフルエンザ活性を示す T-705 の作用機序について, Antimicrobial Agents and Chemotherapy 誌に掲載された論文を閲覧できる。
担当部署	会社名・機関名	富山化学工業株式会社
	担当部署名	開発管理部
	連絡先	お問い合わせフォーム： https://www.toyama-chemical.co.jp/ja/form/general/input.php?id=TCClinical